

**令和7（2025）年度日英先端科学（UK-Japan FoS）シンポジウム
提出書類記入要領**

(1) 全様式共通事項

- ・ 各様式内の留意事項を確認の上、ご記入ください。
- ・ 様式の改変は行わないでください。セルの高さ・幅の変更などの記入欄の拡大・縮小、ページ数の増減は認められません。文字サイズの拡大・縮小は妨げませんが、審査の際に不利になる可能性があります。指定の書類以外のものを提出することもできません。
- ・ すべての様式で氏名の表記を統一してください（アルファベット、カタカナ等）。アルファベットで記載する場合は、姓を大文字表記にする等、姓と名が区別できるようにしてください。アルファベットのふりがなは、選考委員が姓名を正しく把握できるようひらがなで記載してください。
- ・ PDFデータに文字切れやレイアウト崩れがないか確認の上、ご提出ください。

(2) 様式1について【所属機関作成様式】

- ・ 日本語でご記入ください。
- ・ 機関コードは、機関コード表 (<https://www-kokusai.jsps.go.jp/jsps1/kikanList.do>) をご参照ください。
- ・ 機関長職名、機関長名における「機関長」とは、大学においては学長とします。大学を設置する法人の長ではありません。

(3) 様式2について【申請者作成様式】

- ・ 様式の指示に従って、作成ください。
- ・ 機関コードは、機関コード表 (<https://www-kokusai.jsps.go.jp/jsps1/kikanList.do>) をご参照ください。

(4) 様式3について【申請者作成様式】

- ・ 原則として日本語でご記入ください。①～⑤については、英語での記入も可能です。
- ・ 「③略歴 3.」は、以下の例を参考としてご記入ください。
例) 3. 2010年3月 博士(工学)の学位取得(〇〇大学)
- ・ 「③略歴 4.」は、以下の例を参考とし、採用歴に応じて段数を増やしてご記入ください。出産・育児による休業(休暇、休職、離職を含む。)に伴う研究活動の中断期間(人事記録等により確認できるもの)が通算3ヶ月以上の場合は、その期間をご記入ください。
例) 4. 2013年4月 〇〇大学 〇〇研究科 助教
(2014年5月～8月 育児のため休職)
2020年4月 〇〇大学 〇〇研究科 准教授(現在)

(5) 様式4について【推薦者作成様式】

- ・ 英語での記入も可能です。